

Sky Seminar



携帯端末で

らくらく海外旅行

国際会議などで海外出張の機会がたびたびありますが、非英語圏への出張となると言葉の問題で悩まされま
す。通りの看板を見ても、レストランのメニューを見ても、何が書いてあるのやらちんぷんかんぷん。ハンゲルやタイ語では辞書を引くことさえままなりません。

こんな私を支援するために研究室の学生がとっても便利なiPhone用のアプリを開発してくれました。iPhoneのカメラで看板を撮影し、文字の部分をなぞると、日本語に翻訳してくれるのです。学生がいつには、現在14言語の

認識と35言語への翻訳が可能とのこと
です。どうやってこんな便利なアプリができるのか、少し種明かしをしてみま
しょう。

このアプリはインターネットで利用可能なWebサービスを連携させること
とで実現しました。まず、携帯端末か
ら携帯電話網とインターネットを介し
て、私の研究室にあるサーバにテキスト
画像が送られます。サーバでは、テキス
ト画像を文字列に変換するOCR(光
学式文字読み取り)Webサービスと
機械翻訳Webサービスを順に利用
することで、外国語のテキスト画像が

日本語に変換されます。その結果を
再び携帯端末に送ることで、利用者は
翻訳結果を知ることができるよう
です。
多言語に対応するためには、利用する
Webサービスを切り替えればオーケ
ーです。

現在、インターネット上には「コース
天気予報、道路情報、乗継案内、地図
検索、為替レートからショッピングなど
など、さまざまなWebサービスが提
供されています。これらのWebサー
ビスは単体で利用できるだけでなく、
簡単なプログラミングによって相互に連
携させることも可能になります。近い
将来、旅行の日程と目的地を入力す
るだけで、飛行機や鉄道の予約、ホテル
の予約、コンサートのチケットの手配ま
で自動的に行ってくれるようなサービ
スが現れるかもしれません。

さらに、携帯電話網は世界中に張り
巡らされており、1台の携帯端末から
世界中のいたるところでインターネット
にアクセスすることが可能になっていま
す。現在は、海外でのデータ通信料金が
高額なので、自由に携帯端末を利用す
ることはちょっと難しいですが、それが
安価になれば、携帯端末が私たちの海
外旅行をエーストとしてくれること
になるでしょう。ときには通訳として、と
きには道案内や観光ガイドとして、私
たちの海外旅行を楽しく、安全に、ま
た便利にしてくれるに違いありません。

北村 泰彦

関西学院大学
理工学部教授・総合教育研究室副室長

きたむら、やすひこ
大阪大学大学院基礎工学部研究科博士課程修
了。大阪市立大学工学部助教授を経て、
2003年より関西学院大学理工学部教授。
在外研究員として英国キール大学に留学。専
門はインターネットとエージェントシステム、イ
ンターネット上のWebサービスを統合して、
様々な言語サービスを実現する、言語クリップ
プロジェクトに参画している。趣味はヒョーキ
に乗ることと撮ること。



西宮上ヶ原キャンパス
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 人間福祉学部 国際学部(2010年4月開設予定)

西宮聖和キャンパス
〒662-0827 兵庫県西宮市岡田山7番54号
教育学部

神戸三田キャンパス(KSC)
〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地
総合政策学部 理工学部